

ニカナハズ、松岡恕庵ナドハ、名ヲ元達トシテ、此方ノ假名俗稱ヲカ子、字ヲ成章トシテ、此方ノ實名名乗ヲカ子ラレシナリ、東涯トハ俗ニイフ、アチラコチラナリ、サレバ平居ノ書狀手紙ノトリナレバ、杜撰ナルコトノアルベキヤウハ、ナケレドモ、上ニベル如ク、邦域ノ異ニシテ、俗尙稱謂ヲ相違アレバ、何トシテモ不都合ナリ、サレバ名字ニテ實名假名ヲカ子ン事ハ、トニモカクニモ穩ヤカナラザレバ、世上一般ノ實名假名ニテ、俗用ヲ辨ジ、別ニ詩文ノタメニ、漢土人ニ擬セル名字ヲ命ジオ、クガヨシドイフ人アリ、此モ名ヲニツアルハ、イカドト不ヘバ、實ニイカドナレドモ、キム事ナクバ、其說ニ從フベキニヤ、

〔類聚名物考姓氏八〕名字　な　あざな
假名と實名とあり、假名は俗の呼名なり、實名はすなはち名なり、俗に名告ナガフといふ是二字なる多き故に、すなはち二字ともいふ也、物に多く見えたる。

〔類聚名物考姓氏八〕假名　俗名　呼名

今思ふに、假名はかりの名にて、實名に對ていふことなり、これは古へはなきを後世の俗の習はしに出たり、故に今も公家堂上の家には、この事なし、武家士庶の間に有事也、たゞへば和田小太郎義盛といふが如き、和田は氏、小太郎は假名、義盛は實名也、女にもこれに似たる有或は宣旨などいふも、實名にはあらで呼名也、僧にも有、宰相あるは民部卿など、いふが如き、官にはあらで、假名にて、實名はまた別に有也、この外にも工商のたぐひに長舟石堂なども假名也、相撲にも鬼勝、または岩鬼といふが如きは、氏に似てみな假名也、

〔類聚名物考姓氏八〕二名　三名

今の人名二ツ有、呼名實名也、たゞへば源内善長といふが如き、源内は呼名にて、善長は實名、俗に